

# 120年の軌跡

8

このコーナーでは、宇都宮の120年の歩みを年表と写真で紹介します。

## 昭和41～50年



◀ 駅東土地区画整理事業 人口増加や交通量増大に伴い、土地区画整理事業が相次ぎました。駅東地区は約250ヘクタールを整備し、JR東北線の踏切を立体化し、駅の東西をつなぐ自由通路、市体育館、マロニエプラザを設置し、宇都宮の新しい顔として生まれ変わりました。

### 宇都宮市年表

西暦	昭和	主な出来事
1966	41	▽市制70周年記念式を挙行
1968	43	▽オリオン通りで初の歩行者天国 ▽駅東土地区画整理事業着手
1969	44	▽市宮御本丸スケート場が開場
1970	45	▽市役所別館が完成 ▽市花が「さつき」に決まる ▽市河川愛護会が発足
1972	47	▽市内で初の冬期国体 ▽市草規格、市旗が決まる ▽東北自動車道(右槻)宇都宮が開通 ▽南大通りに初の自転車専用道路
1973	48	▽ごみの紙袋収集を全市で実施
1975	50	▽中央卸売市場が開場



▶ 中央卸売市場 青果物、鮮魚類を新鮮なまま豊富に安定した価格で市民の皆さんに提供するために開場。海なし県に海産物が全国から直送されるようになり、北関東で初の大規模市場といわれました。

## はつらっ宮っこ

今、輝いている市民

ボクシングで培った強さと人間力で  
高校最後に3冠達成

作新学院高等学校 黒柳 禅さん



8月に開催された第71回国民体育大会のボクシング少年男子ウエルター級で優勝した黒柳さん。「優勝できてほっとした。きつい練習も、勝利のためと思えば乗り越えられた」と、先に行われた全国選抜大会、全国高校総体と併せて3冠を勝ち取り、笑顔をのぞかせました。

中学3年生の時に、父の勧めでボクシングを始めた黒柳さん。高校入学後も厳しい練習に食らいつき、着実に力を付けていきました。が、1年生の時に勝ちを確信していた一戦でまさかの敗戦。「手を抜けない環境で練習をした」と、この経験をきっかけに、

「強さだけではなく人との関わり方や礼儀の大切さを学び、ボクシングは自分を人間的に成長させてくれた」と話す黒柳さん。たった3年というキャリアで全国レベルの選手に成長した秘訣も、「自分は監督についていただけ」と、謙虚な姿勢を崩しません。

「将来は、全日本で一番になって、東京オリンピックにも出場したい」と、真つすぐな瞳で未来を見据え、今日も練習に励みます。

